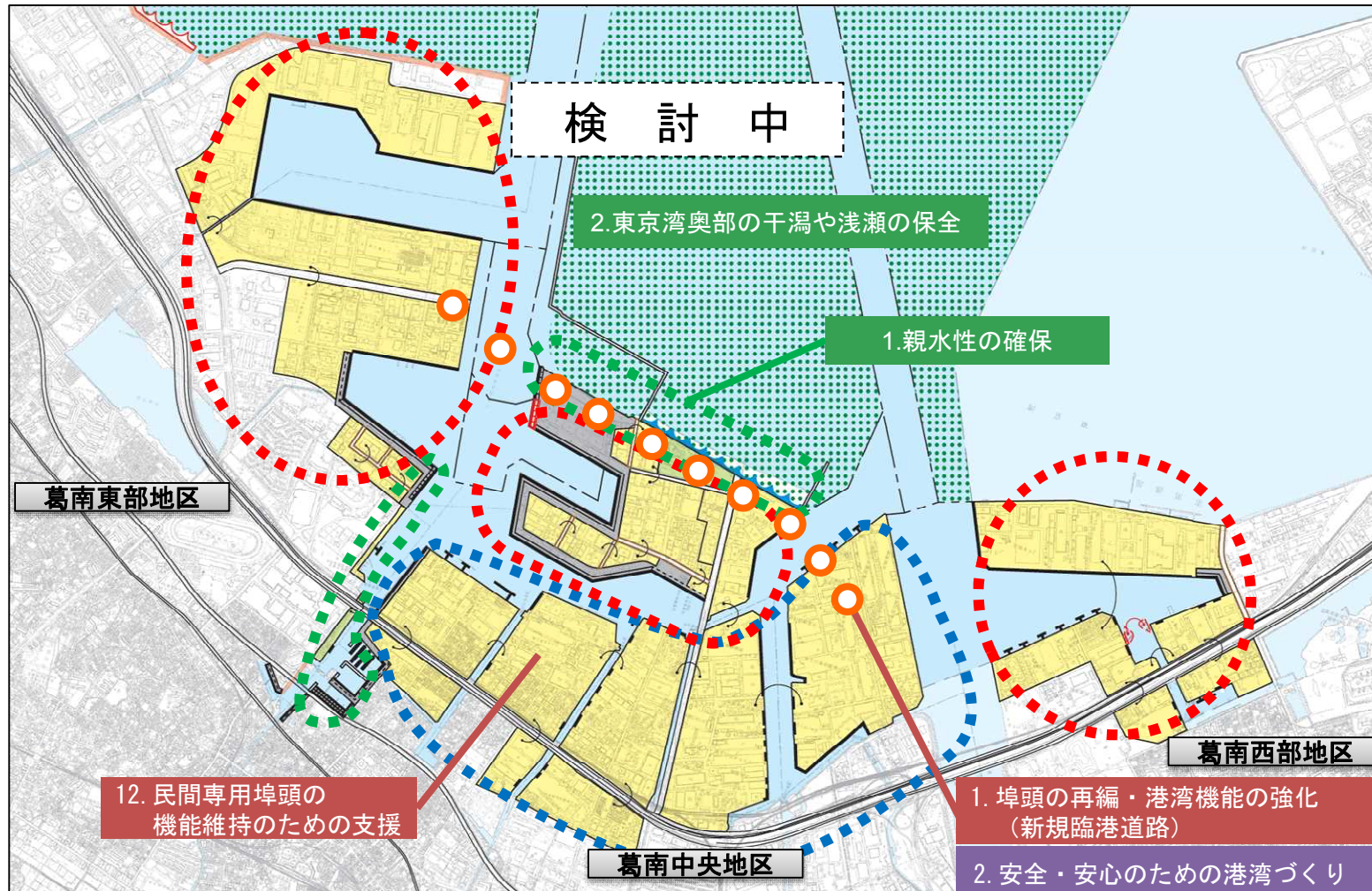


6-4 将来の空間利用イメージ

(2) 葛南東部、葛南中央、葛南西部地区の空間利用イメージ

- 葛南中央地区の北側は、鉄鋼業者が立地していることから、鉄鋼・鋼材の生産を担う「産業ゾーン」とし、民間専用埠頭の機能維持のための支援を進めます。
- 葛南中央地区の南側は、現状と同様の貨物の取扱が見込まれることから、スクラップや鋼材の取扱を主力とする「物流関連ゾーン」とします。また、臨港道路を整備し、交通渋滞の緩和、災害時における輸送道路・避難経路の複線化を図ります。南側の沿岸部は、海浜や公園が位置しており、海と触れ合える空間を求める地域住民・来訪者のニーズに応える「親水・交流ゾーン」とします。
- 葛南西部地区は、鉄鋼や砂・砂利を取り扱う「物流関連ゾーン」とします。



施策展開の凡例

将来像Ⅰ グローバル化、地域間競争の時代の  
県内企業の発展を支える千葉港

将来像Ⅱ 県民の生活と安心を支え、  
県民と共にある千葉港

将来像Ⅲ 環境を守り、人々が海を感じ  
ふれあえる千葉港

ゾーニングの凡例

- 物流関連ゾーン
- 産業ゾーン
- 親水・交流ゾーン
- 都市機能ゾーン
- 自然環境の保全・再生ゾーン

### (3) 千葉北部地区の空間利用イメージ

- 千葉北部地区の海岸沿いは、人々が海と触れ合える「親水・交流ゾーン」とし、旅客船棧橋整備による海上交通網の実現や、浜辺における各種のイベント開催への協力などによる地域の活性化を図ります。
- 前面の水域は、自然環境豊かな干潟・浅海域となっており、「自然環境の保全・再生ゾーン」として、今後も継続して自然環境を守っていきます。
- 背後の商業施設、集客施設等が立地するエリアは「都市機能ゾーン」とします。



施策展開の凡例

将来像Ⅰ グローバル化、地域間競争の時代の  
県内企業の発展を支える千葉港

将来像Ⅱ 県民の生活と安心を支え、  
県民と共にある千葉港

将来像Ⅲ 環境を守り、人々が海を感じ  
ふれあえる千葉港

ゾーニングの凡例

- 物流関連ゾーン
- 産業ゾーン
- 親水・交流ゾーン
- 都市機能ゾーン
- 自然環境の保全・再生ゾーン